

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No. 4 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第48回例会 昭和58年7月26日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 47名 出席 35名
出席率 76.09%

◇ 前回 7月19日(修正出席率) 100%

make up

秋山君(7/18東), 青山君(7/22港), 古川君(7/23守山), 加藤(保)君(7/22北), 黒野君(7/18中), 松居君(7/22港), 水野(民)君(7/18中), 水野(賀)君(7/18 SUDDE PARIS, FRANCE), 齊藤君(7/23守山), 笹野君(7/23守山), 菅原君(7/20東京), 鈴木(正)君(7/18空港)

◇ ビジター紹介 3名

◇ 誕生日祝福

深見夫人(7/27), 大口夫人(7/27), 小池君(7/28), 加藤(敏)夫人(7/29), 笹野君(7/30)

◇ ニコボックス

水野(民)君(米山奨学生カウンセラーのため米山奨学会よりいただきましたので、又前回ゴルフ会でブービー賞となりまして), 水野(賀)君(北欧旅行より無事帰朝しました), 和田君(本日卓話させていただきます), 水野(賀)君(夫人誕生祝), 深見君(夫人誕生祝), 小池君(誕生祝), 大口君(夫人誕生祝), 加藤(敏)君(夫人誕生祝), 笹野君(誕生祝)

◇ バナー披露

Rotary Club of Ibadan, Nigeria (安藤君)

◇ 三輪幹事報告

1. 本日例会終了後、理事会を行いますので理事役員の方は橋の間にお集り下さい。
2. 9月24日、25日の松本での年次大会のしめ切りが間近ですので、出欠を事務局まで至急御連絡下さい。

◇ 竹内会長挨拶

ロータリアンとしての必須の最低条件は「会費の納入」と「例会出席」であります。

この中で会費納入は殆ど問題はありますが、例会出席に関して、RC程問題にする団体はないでしょう。業者団体やら単なる親睦グループでは欠席も寛大で、又代理の出席も認められるのですが、RCでは本人が必ず出席する事を義務づけております。『ロータリー60年史』に先日御紹介しましたが「出雲南RCでは1972年2月創立以来6年間所属の第269地区内第1位を目指し、遂に1978年9月8日の第330回例会で念願の出席率100%を連続300回達成した」と報告されております。世界中のRCは毎週一度一定の日時に一定の場所で定例会の会合を開く事を決め、その日時、場所はRIが発行する公式名簿に記載され、世界のどこのRCのメンバーであろうと、この名簿によりクラブの会合を確かめ随時これに出席する事が可能で、ホームクラブ出席と同価値を認められます。即ちmake upです。夫々のクラブの会合はその他にも色々ありますが、RIの立場から公式の会合と認められているのはこの定例会だけです。昨年度に於ける尾張第一分区の出席率をみてみますと、19クラブの中常に5~6クラブが出席100%を達成しております。RCのメンバーは一職種一名と限られます、謂わば業界の代表とも云えましょう。その立場から出席問題を考えれば、RCというフィールドへ毎週業界の代表として参加する事により他業種の人へ寄与し、又逆に他の人々より有形無形の多くを得て、自らの職業、又職能団体へ大きく反映させる……という大切な責務を負うと共にそれが誇りでなくてはならないと考えます。つまり『奉仕の情報交換会』であり、欠席は職業奉仕を重んずるRCの精神に反し、業界の他のロータリアン希望の人々に迷惑をかける事に他ありません。水野前会長は徒らに出席率にこだわらぬ立場をとられ

ましたが私も同じで、単に出席率にこだわりますと点取虫の如くになり窮屈であろうと考えます。然しながら以上申し上げました様に夫々のメンバーは夫々の職域の全権大使みたいなものですから、その趣旨がよく御理解頂ければ、自から例会場へ足が向くのではないかと考えます。従って単に昼食だけで帰る（これをナイフ・アンドフォークメンバーといいます）のは無意味であり、出席率にこだわるとも深い意味があつての事と理解されます。どうぞ make up は make friend でもある事をよくよく頑味して下さい。

◇講演

“ザ・ハート (The Heart)”

会員 和田正敏 君

卓話のタイトルとした“**The Heart**”つまり“**心臓**”“**心**”は、私が医師としての **life work** であり、座右の銘としています。

なぜ“**心臓**”を **life work** としたかは、大学時代、二人の和田先生に会ったというとても単純な理由です。その一人は、和田敬先生であり、大学3年の頃、その方の書かれた心電図学の教科書で勉強したことがあります。『心臓はちょうど片手でゲンコツを作った位の筋肉の塊ででき、重さ約300g程度のポンプである。心臓自身から電気刺激を発生し、特殊な電気回路を経由して筋肉を興奮させたのち、動脈・静脈を通して1日延べ約10トンの血液を送り出すために、毎日10万回以上もの収縮運動を行なっている。仮に1分間に70回収縮すれば、70年間では実に260億回となる』と解説してありました。この内容によって私は、心臓の電気生理学に興味を抱ききっかけとなったわけです。

もう一人の和田は、元札幌医科大学、和田寿郎教授であります。昭和43年8月8日、教授が中心となって、当時18歳の宮崎信夫君の心臓移植手術が我が国で初めて行なわれ、世界では30番目というニュースが発表されたことに大変驚きを感じました。

大学時代、心に強く印象づけられた二人の和田先生から、和田という名ならば内科医の循環器専門として、心臓についてのプロになれると思いました。それから12年間、内科学の循環器医師として研究・診療を行なってきました。

その間に感じたことは私を含めて現代医学を学ぶと専門分野の **Specialist** になっていきますが、一人の人間として診察するより、人間の体の中の一部、臓器のみしか知らない



臓器医師になる傾向があるということです。又、医療機器優先つまり **Data** が正常ならば正常であると決めつけ、人の訴え・苦痛を無視してしまうように思われます。このような反省の中で“**The Heart**”つまり、心をもった医師でなければならぬと思うようになりました。

“**心**”を広辞林で引用しますと『人間の知・情・意の働きの総称』とあります。この3つの心的要素をもつ医師になるように努力し、**Home Doctor** として、地域の医師として、ロータリー精神にかなうよう社会奉仕を行ってゆきたいと思っています。

◇山村君長期欠席報告

当会員の山村君が病氣療養のためしばらく例会を欠席されます。理事会において長期欠席が承認されましたので御報告申し上げます。

◇例会変更のお知らせ

- 8月1日(月) 名古屋中RC 名古屋RCと合同例会の為、8/2(火)12:30 pm より観光ホテルにて
- 8月4日(木) 名古屋瑞穂RC FSMの為 6:00 pm より都ホテルにて
- 8月15日(月) 名古屋空港RC 例会会場休館の為、8/12(金)12:30 pm より中日パレスにて
注) 15日当日はビジター受付は行いません。
- 8月15日(月) あまRC 夜間例会の為、8/18 6:00 pm より名鉄グラウンドホテルにて
- 8月17日(水) 名古屋和合RC 東RCと合同例会の為、8/15(月)12:30 pm よりホテルナゴヤキャスルにて
- 8月17日(水) 名古屋名北RC FSMの為、8/17(水)5:30 pm より第二富士ホテルにて

——ロータリアンの言葉——

「会員増強を成功させる鍵は期限を具体的に定めた明確な計画と、実際にその計画を遂行する人々にかかっている。」

一元地区ガバナージム・ヴァンダーバーグ (米国)

「私達は決して、優れた新会員をクラブに迎える必要性について弁明してはならない。増強することをやめたら減びて行くのだ。」

一元R I 会長ウイリアム・R・ロビンズ (情報抄録より)

◇次回例会(8月2日)

卓話 “試験管ベビーを巡って”

名古屋大学 助教授

蜷川 映巳 氏 (紹介者 竹内真三君)

◇次々回例会(8月9日)

卓話 “昭和58年度全国高等学校総合体育大会 裏話”

愛知県教育委員会事務局保健指導官

小澤 和郎 氏

(紹介者 大谷和雄君)